

千厩高校 同窓会 会長 菊地 保 (平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 4 月 2 日)

わが母校千厩高等学校に、同窓会の役員としてかかわることになりました。

千厩高等学校普通科二回生として、あのバルコニーが祝福して迎えてくれたのは、今から 65 年前の春。まさに青春時代のスタートでした。

その日から、千厩高等学校は私の「母校」となりました。

普通科は 2 クラス。私は B 組。3 年間クラス替えなし。したがって、仲間意識は強固なものとなり、生涯の宝物となって今日に至っております。新聞などに、千厩高等学校の名前が出ると、全身で即座に反応してしまうのです。

千厩高等学校では、募集定員減という状況の中で、入駒校長先生の「今を一生懸命」の言葉をそれぞれのハートにしっかりと受けとめ、勉学はもとより、部活動、社会参加活動などに生き生きと取り組んでいることは、地域に暮らす私たちの目にしっかりと焼きつき、時には胸を熱くしているのです。

「こんにちは」と声をかけてくれる在校生に出会うと、とても誇らしく、「がんばれ千高生」とつぶやいてしまうのです。

今回、同窓会の役員として、千厩高等学校にかかわることになって、胸のときめきを覚えております。身体の機能は衰えても、ハートのすみに青春が残っているのです。

在校生の皆さん。青春のエネルギーをこの山仰台で思う存分爆発させ、将来の夢の実現に向かって、「今を一生懸命」努力してください。

まさに千厩高等学校は、生涯私たちの「わが母校」なのであります。

永年、同窓会長として千厩高等学校を支えてこられた菅原温士氏に敬意を表し、会員の方のご支援を、心からお願いいたします。